



令和7年度昭島市立成隣小学校学校経営方針

【目指す学校像】

人も自分も大切に、みんなが輝く成隣小
元気にあいさつ、楽しく学ぼう

児童どうしの関りを深め、地域とのかかわりを広げながら、自他を大切にする児童を育成してまいります。

【基本理念】

- 1 児童が互いを認め合い協力し合う教育活動、児童一人一人の個性・特性の伸長を図る教育活動を充実させます。
- 2 生涯学び続けるための基礎を確実に身に付けさせる教育活動の条件整備を進めます。
- 3 「地域の学校」という公立学校のよさを生かします。
- 4 教職員は、自身の知識・技能の向上に努め、学校の実践力、「チーム成隣」としての組織力を向上させます。

教育目標	経営目標	◎中期的な目標 ・取組	○今年度の重点的な取組
○すすんで学ぶ子 ○心豊かな子 ○たくましい子	児童	学力・体力の向上 ◎主体的に学習に取り組む児童を育成する。 ◎心身を鍛え正しい判断で行動する児童を育成する。 ・児童による目標の設定と振り返りを重視し、基礎的な知識・技能を習得させる。 ・児童一人一人に注目し成長を支援する。 ・経験や体験を深める活動を重視する。	○児童の学習に対する目的意識を大切にし、自身の学びを実感できる授業を実施する。(めあて・振り返り) ○外部講師、地域人材を活用した授業を実施する。 ○日常的な書く活動を通して思いを表す力を向上させる。 ○健康で安全な生活のために必要な生活習慣や食習慣を身に付けさせる。(グッドモーニング60分など)
	児童	豊かな心の育成 ◎互いを認め、協力し合う児童を育成する。 ・児童の言語環境を整え、人権感覚を高める。 ・互いを認め合い、物事を共に創造する体験的な活動を重視する。 ・互いに支え合う、よりよい関係を大切にした活動を重視する。	○あいさつを基本とした教師と児童、児童間の良好なコミュニケーションを築く。 ○児童の言語環境を整え、いじめ問題の未然防止と早期解消に全職員で取り組む。 ○道徳科の授業を要とし、特別活動や学校行事を通して児童の人間力を育成する。
	教職員	能力開発と資質向上 ◎教職員が自らの知見を広げ、指導力を磨く。 ・児童にとって「分かる授業」「楽しい授業」を目指し指導力を向上する。 ・特別支援教育に関する知見を広げ、児童を肯定的多面的に理解し支援する。 ・心身の健康を保ち、よき指導者、よき社会人として児童と接する。	○研究・研修活動を一層活性化する。 ○ICT活用技能と授業での効果的活用を研鑽する。 ○OSCや心理士等の関係機関との連携を図る。 ○互いに声を掛け合い教職員による服務事故を未然に防ぐ。
	教職員	組織力の向上 ◎教職員一人一人が持ち味を発揮し、協力しながら教育活動を展開する。 ・「報告」「連絡」「相談」を基本とした教職員間のコミュニケーションがとれた職場をつくる。 ・「子供のために」で協力し合える教職員のチーム力(同僚性)を高める。	○企画(主任)会を通じて児童に関わる情報を共有し、教育活動の活性化、指導の充実に活用する。 ○学年・専科、支援員等のチームによる迅速・誠実・的な問題解決を行う。 ○外部関係機関との連携に努め、児童理解と指導の充実を図る。
	家庭・地域	理解・連携の強化 ◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	○学校運営協議会を通じて、学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進する。 ○HPやメールを活用した情報発信力を強化する。 ○外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 ○幼稚園・保育所等と連携しスタートカリキュラムを充実させる。